

## 県中地域感染症シター号外 ～梅毒～

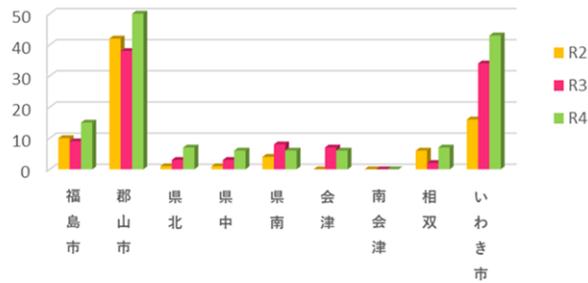
※ 全国及び県内では、梅毒の発生が増加しています。  
梅毒に罹らないためにはどんなことに気を付けられればいいでしょうか？

### 梅毒とは？

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染します。

感染すると全身に様々な症状が出ます。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、将来、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。特に妊娠している人が感染すると胎児にも感染し、死産や早産、新生児死亡、奇形など様々なことが起こる可能性があります。

梅毒（県内保健所別届出数）



出典：福島県感染症発生動向調査事業報告書

県中管内の発生状況



出典：福島県感染症週報（R3.1週～54週、R4.1週～52週）

### 梅毒の症状は？

症状が消えても感染力は残っています。しっかりと治療することが大切です！！

#### 感染後数週間

口の中や肛門、性器等にしこりや潰瘍ができたり、股の付け根の部分のリンパ節が腫れることがあります。痛みはないことが多いです！



#### 数か月後

バラ疹と呼ばれる淡い赤い色の発疹が、手のひらや足の裏、体幹部などに出現したり、肝臓や腎臓などの全身の臓器に様々な症状が出現することがあります。発疹は数週間以内に自然に軽快しますが、梅毒が治ったわけではないので注意が必要です。



#### 数年後～数十年後

ゴム腫と呼ばれる腫瘍が皮膚や筋肉、骨などに出現し、周りの組織を破壊してしまふことがあります。また、大動脈瘤などが生じる心血管梅毒や神経症状などを生じることもあります。



### 妊婦さんの感染は要注意！

妊娠している人が梅毒に罹ると、胎盤を通じて胎児に感染し、死産や早産、新生児死亡が起こったり、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたす（先天梅毒）ことがあります。



### 予防法は？感染の心配があるときは？

予防法は、粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触することがないように、コンドームを適切に使用しましょう。ただし、コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。皮膚などの異常があったらまずは早めに医療機関へ受診しましょう。

梅毒に感染しているかは血液検査で分かります。保健所ではHIV検査と一緒に梅毒に感染しているかの検査を行っています。心配な時は下記までご連絡ください！

保健所では匿名で検査を行っています。  
検査は予約制です。検査希望の方は、県中保健福祉事務所エイス相談ダイヤルまで御連絡ください！ 連絡先：0248-75-4338

